

中部学院大学報

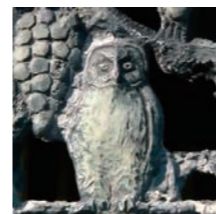
# PAULOWNIA+

ポローニア プラス

CHUBUGAKUIN DIGEST







大学は1997年に開学してから四半世紀が経ち、短期大学部は56年目を迎えました。『中部学院大学報』も節目の第50号となりました。今回は、岐阜県内はもちろんのこと、全国や世界で躍動する学生たち、大学での学び、部活動やサークルでのつながり、地域に貢献する取り組みなどをご紹介します。

発行 | 中部学院大学報編集委員会

## 2023 Vol.50 Contents

- P 04 SPECIAL FEATURE 01  
硬式野球部 全日本大学選手権ベスト8
- P 06 SPECIAL FEATURE 02  
地域に貢献する大学～地域との連携～
- P 08 SPECIAL FEATURE 03  
キラッと輝く中部学院生
- P 10 保護者の皆さまへ
- P 12 CLUB & CIRCLE
- P 14 TOPICS



表紙写真  
各務原キャンパスと中庭

### 校章

1967(昭和42)年に本学の前身である岐阜済美学院短期大学が、岐阜県関市「桐谷」の地に開学しました。校章は土地の名と共に、古くから女性を象徴する紋章とされてきた「五三の桐」をモチーフにしました。70年に中部女子短期大学に校名変更。その際に「大学」の文字の中央に「中」を入れました。その後、大学が開学、短期大学は男女共学の中部学院大学短期大学部となりましたが、現在に受け継がれています。



### シンボルマーク

1997(平成9)年に中部学院大学が開学し、同短期大学部は開学30周年を迎えました。翌98年は学校法人岐阜済美学院が開設80周年を迎え、シンボルマークを一般公募しました。新しいシンボルマークは、岐阜の「G」と岐阜済美学院の「S」をイメージしながら、中部の「C」と学院の「G」も組み合わせています。本学の未来や社会への貢献を目指し、いきいきと躍動する人物の姿を表現しています。





# SPECIAL FEATURE 01

## 硬式野球部 全日本大学野球選手権 ベスト4まであと一歩



中部学院大×天理大=2試合連続のタイブレークを制し、ベスト8進出を決めて喜ぶナイン

硬式野球部は、大学野球の第72回全日本選手権(6月5日～・東京ドーム/明治神宮野球場)に東海地区代表として10年ぶり3度目の出場を果たし、ベスト8に進出しました。

岐阜学生野球リーグ春季リーグを11勝1敗で優勝。続く東海地区大学野球リーグ春季選手権大会は再々試合にまでもつれ込む大激戦の末、全日本選手権への出場を勝ち取りました。

初戦は日本文理大(九州地区北部)と対戦。9回表に追いつき、延長タイブレークへ。11回表に森翔太郎選手(人間福祉③/熊本工業高校出身)の適時打などで4点を挙げ、12-9で、同選手権初勝利を挙げました。投げたのは、ロングリリーフした北田智郎投手(同③/埼玉・正智深谷高校出身)が要所を締めました。

2回戦は天理大(阪神大学)と対戦。9回まで両チーム無得点と譲らず、2試合連続で延長タイブレークに突入。11回裏、無死満塁から大江拓輝選手(同④/青森・八戸学院光星高校出身)がサヨナラタイムリーを放ち、劇的な勝利を収めました。投げたのは、先発の宮島拓斗投手(同③/大阪・興国高校出身)が9回を散発3安打、二番手の縄田渉投手(スポーツ④/大阪桐蔭高校出身)が無安打ピッチングを見せました。

準々決勝は、優勝した青山学院大(東都大学)に0-9で敗れましたが、秋の明治神宮野球大会への出場と活躍に期待が高まります。



応援で盛り上がるチアリーダーと硬式野球部員



演奏で盛り上げる吹奏楽部

### 1回戦



①ゲームセットの瞬間 ②ロングリリーフで好投した北田智郎投手 ③延長タイブレーク、代打・江川日那太選手の2点適時打で勢い付く ④勝ち越しに成功して喜ぶナイン ⑤3安打5打点の活躍を見せた森翔太郎選手 ⑥延長11回、森選手のタイムリーでダメ押し。歓喜にわくベンチ ⑦攻守で活躍した竹中奨投手

### 2回戦



①散発3安打で9回まで投げ抜いた先発の宮島拓斗投手 ②ピンチを脱しガッツポーズを見せる二番手・縄田渉投手 ③11回裏無死満塁、大江拓輝選手がライト前にサヨナラヒット ④ガッツポーズで喜ぶ大江選手(左) ⑤劇的な勝利を挙げてスタンドに喜びと感謝を伝えるナイン ⑥声援を送り続けた応援団

## 全日本大学野球選手権

### 1回戦(6月5日・東京ドーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
中部学院大	0	2	0	0	0	0	3	0	1	2	4	12
日本文理大	1	0	3	2	0	0	0	0	0	2	1	9

(投手)小川、木村、縄田、○北田 (捕手)竹中

### 2回戦(7日・東京ドーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
天理大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部学院大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	1

(投手)宮島、○縄田 (捕手)竹中

### 準々決勝(8日・神宮球場)

	1	2	3	4	5	6	7	計
青山学院大	0	5	0	0	2	0	2	9
中部学院大	0	0	0	0	0	0	0	0 (7回コールド)

(投手)●小川、木村、中尾、山本虎、北田 (捕手)竹中

### 2023年度 東海地区大学野球連盟 岐阜学生野球リーグ春季リーグ

4月	1日	○	3-1	東海学院大
	2日	○	4-0	東海学院大
	14日	○	10-0 (5回コールド)	岐阜大
	17日	○	10-0 (5回コールド)	岐阜大
	22日	○	7-4	朝日大
	23日	○	9-6	朝日大
	29日	●	2-4	岐阜聖徳学園大
5月	1日	○	6-2	岐阜聖徳学園大
	5日	○	5-4	岐阜協立大
	10日	○	2-1	岐阜協立大
	12日	○	2-1	中京学院大
	15日	○	8-0	中京学院大

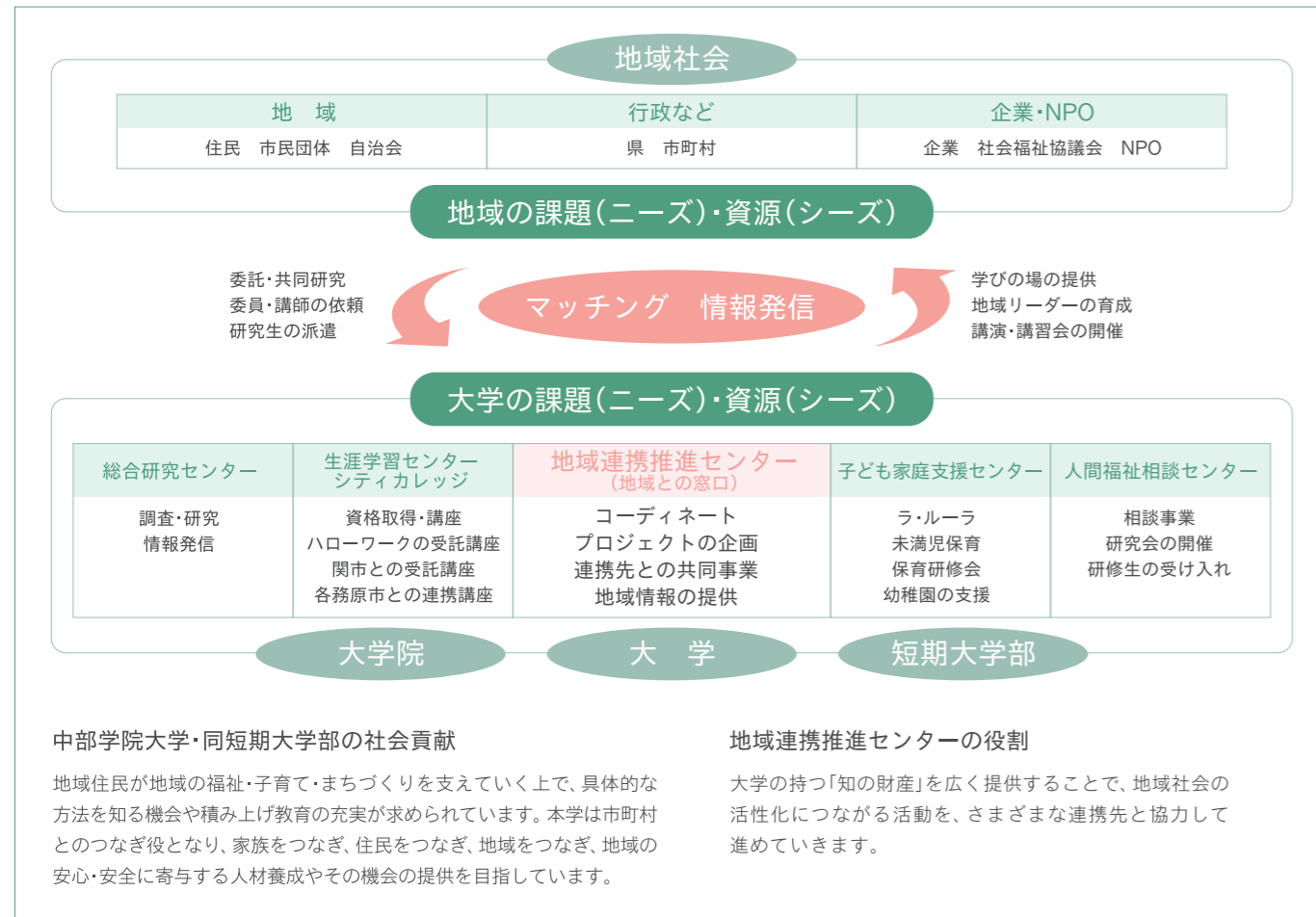
### 2023年度 東海地区大学野球春季選手権大会

5月	20日	●	2-4	東海大静岡
		○ <td>6-3 <th>皇學館大</th> </td>	6-3 <th>皇學館大</th>	皇學館大
	21日	● <td>4-6 <th>皇學館大</th> </td>	4-6 <th>皇學館大</th>	皇學館大
		○ <td>12-3 (7回コールド)</td> <th>東海大静岡</th>	12-3 (7回コールド)	東海大静岡
	23日	○ <td>10-2 (7回コールド)</td> <th>東海大静岡</th>	10-2 (7回コールド)	東海大静岡
		○ <td>8-1 (7回コールド)</td> <th>皇學館大</th>	8-1 (7回コールド)	皇學館大



# SPECIAL FEATURE 02

## 地域に貢献する大学 ～地域との連携～



### トピックス | 1 | 下呂市と包括連携協定を締結

中部学院大学および同短期大学部は7月、下呂市と包括連携協定を締結しました。今回の協定は、「地域福祉の向上」「教育・子育て支援」「健康づくり」「人材育成」などに関して連携・協力関係を築き、「活力ある地域社会の形成・発展」と「未来を担う人材育成」など地域社会に貢献することを目的としています。そのうち、介護人材の育成では、卒業後に同市内の介護事業所への就職を予定している学生に支援金などを支給することや、同市介護保険事業計画の策定のため、教授が委員として参画すること、教育・子育て支援では、市内保育施設での保育実習受け入れの推進などが盛り込まれています。

山内登市長は「下呂市は人口減少、少子高齢化などの問題を抱えている。介護福祉士は不足しており、保育士も子育てしやすいまちづくりのためには足りていない。今後、連携して問題解決に取り組んでいきたい」と話しました。大学の江馬諭学長は「福祉、教育、医療、健康に関わる人材は地域に必ず必要な人材。地域に貢献できる人材養成で協力していきたい」、短期大学部の片桐史恵学長は「大学の持つ教育力、研究力、企画力を地域の発展に役立てていきたい」と期待を寄せました。



包括連携協定を締結した(右から)中部学院大学の江馬諭学長、下呂市の山内登市長、中部学院大学短期大学部の片桐史恵学長=下呂市役所

### 連携協定先

- 自治体** 岐阜県 岐阜市 関市 各務原市 美濃市 美濃加茂市 可児市 山県市 本巣市 郡上市 下呂市 本巣郡北方町 大野郡白川村 (順不同)
- 教育委員会** 各務原市教育委員会 羽島市教育委員会 羽島郡二町教育委員会 関市教育委員会 美濃加茂市教育委員会 土岐市教育委員会 高山市教育委員会 (順不同)
- 社会福祉協議会** 岐阜県社会福祉協議会 岐阜市社会福祉協議会 各務原市社会福祉協議会 大垣市社会福祉協議会 関市社会福祉協議会(関市と三者連携) 高山市社会福祉協議会 下呂市社会福祉協議会 飛騨市社会福祉協議会 (順不同)
- 企業** 岐阜県生活技術研究所 株式会社十六銀行 株式会社大垣共立銀行 関信用金庫 岐阜信用金庫 株式会社岐阜新聞社 イオン株式会社 中部電力株式会社 株式会社トーカイ 長良川鉄道株式会社 株式会社大垣共立銀行・株式会社トーカイ(三者協定)
- 医療機関** 中濃厚生病院
- 組合** 岐阜県金属工業団地協同組合 めぐみの農業協同組合
- 研究所** 岐阜県生活技術研究所
- 財団法人** 岐阜県産業経済振興センター(公益) 岐阜県スポーツ協会(同) 岐阜県教育文化財団(同) 関市観光協会(一般、関市と三者協定) 関市スポーツ協会(一般) 岐阜県障害者スポーツ協会(同)



### 学生による地域貢献事業 (2023年度)

- |        |                  |  |                       |   |  |
|--------|------------------|--|-----------------------|---|--|
| 大<br>学 | <b>人間福祉学科</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもによる「おとな食堂」</li> <li>本学周辺地域におけるボランティアニーズの把握と本学ボランティア活動の企画・開発</li> </ul>           | 短<br>期<br>大<br>学<br>部 | <b>幼児教育学科</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>美濃加茂市「木育」で世代をつなぐSDGsプロジェクト2</li> </ul>  |
|        | <b>理学療法学科</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで楽しく健康づくり -フレイル予防のための運動指導-</li> </ul>  |                       | <b>社会福祉学科</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「動物」と「飼主」および「飼主以外の人」三者の福祉が守られる共生社会の実現に向けて -高齢者および生活困窮者のペット飼育問題を通して、誰もが自分らしく生きることのできる社会づくりを考える-</li> </ul> |
|        | <b>看護学科</b>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園における園児の健康教育</li> </ul>   |                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアハウスで暮らす高齢者と短大生との「いきいき」交流活動</li> </ul>              |  |
|        | <b>スポーツ健康科学科</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>関市上之保地区における間接的・直接的手法を用いた運動継続支援活動発展の試み -特に開始1か月間のモチベーションアップを重視した直接的手法の試行-</li> </ul> |                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>迫間台団地の繋がり・助け合えるコミュニティの再構築と防災意識の向上に向けた取り組み</li> </ul> |  |
|        | <b>小学生を対象とした</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ大会「SEKIカップ」の開催</li> <li>キャンプ型自然学校開催の試み</li> </ul>                               |                       |   |  |

### トピックス | 2 | 愛知教育大と連携協定 教育要請の高度化に対応

中部学院大学は8月、愛知教育大と教員養成の高度化に関する連携協定を締結しました。本学では、教育学部とスポーツ健康科学部に教職課程があります。今回の協定では、教員を志す本学の学生は、学内の推薦を経て、同大大学院教育学研究科専門職学位課程の特別選抜の受験資格が与えられ、可能性がさらに広がる事が期待されます。そのほか、教職員間の交流なども盛り込まれています。

愛知教育大学の野田敦敬学長は、「教員採用試験の倍率低下を受け、教員養成を高度化していく必要を強く感じている。協定により、中部学院大学卒業後、教職大学院に進学し、高度な教員になっていく実績を積み重ねていくことを願っている」、本学の江馬諭学長は、「本学では近年、教員を志す学生が増えている。また、卒業後に教職大学院に進学する実績もある。本学の学生にとって学ぶ機会が広がり、大変うれしく思う。今後はさらに岐阜県内の教員養成の高度化に引き続き力を入れていきたい」と述べました。教職大学院への特別な選抜を取り定めた連携協定は、上越教育大学(2018年)に続いて2大学目。本学の大学間連携は大学、短期大学部ともに5。



教員養成の高度化に関する連携協定を締結した(左から)本学の江馬諭学長と愛知教育大学の野田敦敬学長=愛知県刈谷市、同大

- 大学・高校との連携先**
- 大学/放送大学 新潟青陵大学短期大学部 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 岐阜大学 上越教育大学 愛知教育大学  
 高校/岐阜総合学園高校 岐阜各務野高校 岐阜農林高校 山県高校 大垣養老高校 大垣桜高校 関有知高校 関高校  
 関商工高校 郡上高校 加茂農林高校 東濃実業高校 土岐紅陵高校 恵那農業高校 益田清風高校 飛騨高山高校  
 済美高校 長良特別支援学校 (順不同)



### カナダでの世界大会で初優勝 ベストパフォーマンスを披露

空手道部の中路陽沙未(ひさみ)選手(スポーツ健康科学部2年)が今春、カナダのバンクーバーで開かれた「KARATE1シリーズA2023」で初優勝を飾りました。世界ランキング外からの挑戦でしたが、決勝まで勝ち上がり、最後は同8位の日本人選手を抑え、栄冠を勝ち取りました。

#### ―世界大会に出場したきっかけは。

今年度のナショナルチーム選考会は落ちてしまいました。来年度、チーム入りを果たすために、今年、海外で行われる試合で実績を積み、世界ランキングを上げようと決意し、世界各地で行われている公式のオープン大会を転戦することにしました。その初戦がカナダのシリーズAです。

#### ―カナダの世界大会を振り返って。

周りを気にせず、「知らない人にも自分の形を見てもらえる」という前向きな気持ちを大切にしました。ワクワクして、楽しみながら1戦1戦に挑み、結果としてベストパフォーマンスを出すことができたと思います。また、食事は、みそ汁やどて煮などの和食を持参し、いつもと変わらないようにしました。睡眠も時差対策を考えたり、寝すぎないようにしたりして、万全の状態ですら集中できるように心掛けました。

#### ―試合で良かったところは。

技術には自信があったので、自分のベストを尽くすことだけを考え、挑戦者として挑んでいきました。また、マットの状態など試合会場の環境を時岡先生とも電話で確認し、いつもと変わらない準備を進めることができました。決勝は、緊張と不安でいっぱいでしたが、少し俯瞰(ふかん)したら冷静になって、吹っ切れたのが良かったと思います。



#### ―初優勝という結果を残し、得たものも大きかったのでは。

日本でもトップクラスの選手とも交流することができ、世界の選手とも戦うことができ、刺激を受けたと同時に、課題も見つかったことで、一つ一つクリアにしていきたいです。

#### ―今後の課題は。

形は基本が安定していることが

スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科2年(空手道部)

### 中路 陽沙未さん

(なかじ・ひさみ)

愛知県名古屋市出身。姉の陽紗乃さん(2021年度スポーツ健康科学部卒業)の影響を受け、小学1年から空手(形)を始める。全国少年少女選手権ベスト8(小6)、JOCジュニアオリンピックカップ彩の国杯全国中学生選抜大会準優勝(中2)、全国中学校体育大会準優勝(中3)。高校は岐阜市の済美高校に進学。全国高校総合体育大会ベスト8(1年)、同準優勝(3年)、全国高校選抜大会優勝(2年)などの成績を残す。高校時にはイタリアで行われたユースリーグ優勝。卒業後、中部学院大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科に入学。小柄な体格を生かしたスピードとキレが持ち味で、切り返しの速さが光る。勝負形が多いのも強み。気分転換は睡眠と洋服などのショッピング。



重要です。スピードとキレに磨きをかけるには、基本となる手や足の関節の動かし方や、動く瞬間の力を抜き、切り返しを早くすることがポイントになります。体調は毎日違うため、毎日の練習の中で「どこをどのように意識すると動きが変わるのか」ということを自分なりに科学的に分析しながら、基本動作を追求し、さらに速く大きく表現できるようにしていきたいです。

#### ―同期には、組手で世界大会を制した寺澤紗良選手らがいいますが。

高校時代からの仲間であり、良きライバルです。これまで書き留めてきたメモと一緒に読み返しながら、モチベーションを高めています。また、部員も全国の強豪校から集まり、力強さ、速さなどそれぞれに持ち味を持っています。お互い共有し合いながら、切磋琢磨(せつさたくま)しています。

#### ―これからの抱負を聞かせてください。

全日本大学選手権、全日本選手権、来年度のナショナルチーム選考会などすべての大会で成績を残せるようにしたいです。

### スポーツの力で子どもたちに希望を― 「利他」を共有できるチームを目指す

大学の公式ホームページでは、社会で活躍する本学の卒業生のインタビューを紹介するスペシャルコンテンツを発信しています。今回は、バスケットボール男子Bリーグ3部(B3)「岐阜スゥープス」の選手として活躍を続け、今シーズン(2023-24)からはヘッドコーチ(監督)も務める杉本憲男さんに、大学生活を振り返りながら、バスケットボールにける情熱やスポーツを通じた子どもたちへの思いなどについて聞きました。

※ホームページでの「スペシャルコンテンツ」は、今後も随時、さまざまな分野で頑張っている卒業生を取り上げていく予定です。

#### ―大学入学前に考えていた将来の夢は。

保育士になりたいと思って大学を探していたところ、高校時代、熱心に取り組んでいたバスケットボールを強化している中部学院大学の存在を知りました。保育士養成コースもあり、入学を決めました。母子家庭でしたので、学費免除の奨学金制度があるのもありがたかったです。

#### ―いまの仕事を目指そうと思ったきっかけは。

保育士になるための学びの中で幼児に体育を教える「幼児体育」という分野があることを知りました。「体を動かすのが好き」「子どもが好き」という両方が一緒になった仕事は自分にピッタリ!と確信してこの道に進もうと決めました。3年前には独立して「サンクスアクティビティ」という会社を立ち上げました。子どもから大人まで、運動能力を伸ばすコーディネーショントレーニングを教えています。

#### ―ボランティア活動にも力を入れています。

交通遺児の私が大学生活を送ることができたのは「あしなが育英会」の募金があったからです。「恩返しをしたい」という思いから、現在はSNSなどを活用し、岐阜スゥープスのホームゲームでお客さまに募金の協力を呼び掛けています。また、「ALL Smiles」プロジェクトでは、児童養護施設の子どもらを無料で試合に招待する取り組みも展開しています。そのほか、施設に運動を教えるボランティア活動を続けてきました。子どもたちは自分の生い立ちと似ているところがあり、自然と寄り添う気持ちになります。彼らには豊かさや楽しさといった「生活の+α」の部分で幸福を感じてもらいたいと感じています。協力者を募り、運動用具などもプレゼントしています。



### 岐阜スゥープス

2006年度 人間福祉学部 人間福祉学科卒業  
プロバスケットボールB3リーグ 岐阜スゥープス ヘッドコーチ兼選手  
幼児体育講師 株式会社サンクスアクティビティ代表取締役

### 杉本 憲男(旧姓 山下)さん

(すぎもと・のりお)



1984年生まれ、滋賀県出身。八幡工業高校卒業後、本学人間福祉学部人間福祉学科に入学。在籍中、バスケットボール部に所属し、東海学生バスケットボールリーグ1部昇格に貢献。3年と4年には岐阜県国体選手に選出。卒業後は、バスケットボール男子Bリーグ3部(B3)「岐阜スゥープス」の前身のクラブチーム「SWOOPS(スゥープス)」に入団し、これまでチームを支えてきた。昨シーズンは41試合に出場し、99得点。今シーズンからはヘッドコーチも務める。ポジションはシューティングガードで、ハードディフェンスが持ち味。好きなNBA(北米プロバスケットボールリーグ)選手は、ポイントガードとして活躍したジェイソン・ウィリアムス。身長175cm、体重75kg。座右の銘は「笑う門には福来る」。



#### ―これからの夢や目標は。

岐阜スゥープスの試合を見て、「すごい!自分も頑張ろう」と子どもたちの目標になるような存在を目指しながら、これからもスポーツの力で希望を持ってもらえるように努めていきたいです。

#### ―今シーズンは、選手とともに、ヘッドコーチとしても期待されていますね。

ガムシャラに頑張るだけでは、この世界は通用しません。「自分の役割を全うする」「勝負所で最大限の力を発揮できる準備」など、心の準備の重要性などを後輩たちに伝えながら、自らの行動で感じてもらえるように努力していきたいです。また、自力でB2昇格を念頭に、「利己」だけでなく、「利他」を共有できるチームを目指します。若い選手の活躍にぜひ期待してください。応援よろしくお祈りします。

岐阜市をホームタウンとする岐阜県初のプロバスケットボールチーム。現在、男子Bリーグ3部(B3)所属。2003年創設。ロゴは、繋がりやイメージ、森の王様クマタカがあしらわれている。チームカラーは、黒・赤・緑。岐阜から天下統一を目指した織田信長と、豊かな山々に恵まれた岐阜県をイメージしている。チームマスコットはスパークー。



# 保護者の皆さまへ

本学では建学の精神や大学の教育方針並びにキャリア支援などについて、保護者の皆さまにご理解いただくために毎年「後援会総会・保護者懇談会」を開催しております。

## 後援会総会・保護者懇談会を開催

6月3日(土)、関・各務原両キャンパスにおいて2023年度後援会総会・保護者懇談会を開催いたしました。オンラインでの個別懇談は残しつつ、4年ぶりに終日対面での開催となりました。また、後援会総会および保護者懇談全体会、学科別説明会(一部の学科を除く)を後日動画配信とし、対面での参加が難しい保護者の方で希望される場合には視聴いただける形としました。対面参加、オンライン参加合わせて、約120名の保護者の皆様に参加されました。



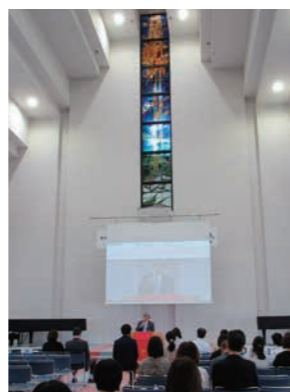
関キャンパス会場入口の様子

### ▶ 後援会総会

最初に、これまでご好評をいただいておりますミニチャペル・アワーを開催しました。八木橋康広短大宗教主事の司会で始まり、短期大学部幼児教育学科の杉山祐子教授のパイプオルガンの演奏の後、高木総平宗教総主事による聖書の言葉、スピーチでは『人はパンだけでは生きない』と題してメッセージが送られました。

引きつづき、岩田美知絵後援会会長が「子どもたちが、学院の理念である『今と生きる 未来を生きる 地域と生きる 世界と生きる 人と生きる』を基に『生きる』のスペシャリストとなり、この先、どんな時代になっても社会に必要とされる人材として生き抜く事ができるよう本後援会も微力ながら支援が出来たらと考えます」と挨拶され、つづいて事務局から新役員の紹介、後援会役員会での決定事項などが報告されました。新役員は次の皆さんです。一年間よろしくお願いたします。

■会長／岩田美知絵 ■副会長／櫻井賢治郎 杉山小百合 ■監事／泉田健一 下田久美子 (敬称略)



チャペル・アワーの様子

### ▶ 保護者懇談全体会

後援会総会に引き続き、保護者懇談全体会を行いました。江馬諭大学学長からは「異常気象への対応をはじめ、就職や入学状況、関係行事の通常開催の移行、全国におけるスポーツ系部活動の活躍、様々な学生に対する組織的な支援」についての取り組みが紹介され、片桐史恵短期大学部学長からは「建学の精神の具現化、『生きるを学ぶ』の探求、学生一人一人の多様な才能を開花させるべく努力する方針」について挨拶をいただきました。

つづいて、本学の誇りでもある高い就職率の原動力となっているキャリア支援について、キャリア支援センター事務局から報告がされました。

最後に、学生を代表して昨年度学生会会長 小久保夏芽が中部学院での充実した学生生活の様子や進路・卒業に向けての抱負、保護者への願いを語り、参加者から賞賛の温かい拍手が送られました。



保護者懇談全体会の様子



幼児教育学科 個別相談の様子



理学療法学科 学科別説明会の様子

### 学科別説明会

### 個別懇談会

保護者懇談全体会終了後、参加者の皆様には学生食堂及び学生ホールにて昼食を摂っていただいた後、午後のメニューの学科別説明会と個別懇談会が開催されました。学科別説明会では教員が学修・就職活動・学生生活等のポイントを説明するとともに、個別相談では日頃の心配事、今後の学修・就職活動に関するアドバイス等、様々な相談にお応えさせていただきました。

### 〈参加者アンケート〉

関キャンパス・各務原キャンパスで行われた「後援会・保護者懇談会」では、毎年参加者アンケートを実施しております。アンケート結果は、10月7日に開催される第2回後援会役員会においてご報告させていただきます。

また、来年度の会をより良いものにするために実施しておりますアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

### アンケートの中でのご意見から

毎年参加させていただいておりますが、今年は見てみたかったチャペルに参加できて良かったです。また、日頃子供から聞いている学校での出来事や現在の子供の様子など、直接お話しが出来て良かったです。

事前の質問に丁寧に答えていただき、ありがとうございました。学校での娘の様子もわかりました。今後実習や課題などで疑問があるときは、先生に聞きなさいとアドバイスしようと思います。

卒業迄の学習計画やキャリア支援について、細やかな説明があり安心しました。学科の先生との交流ができて良かったです。

### 地区別保護者懇談会の中止

地区別保護者懇談会については中止とさせていただきます。後援会総会・保護者懇談会に代替開催とさせていただきます。

### 学生数・出身地・下宿 状況 (2023年5月1日現在)

学生数	学 科	男	女	計
	人間福祉	211	181	392
子ども教育	93	201	294	
理学療法	138	98	236	
看護	44	251	295	
スポーツ健康科	257	85	342	
別 科	30	42	72	
合 計	773	858	1,631	

※通信教育部は含まない

出身地	岐阜県内	1,093	67.0%
	東海地区	215	13.2%
	その他(海外含む)	323	19.8%
下宿状況	自宅生	1,065	65.3%
	下宿生	566	34.7%

学生数	学 科	男	女	計
	社会福祉	28	149	177
幼児教育	10	116	126	
合 計	38	265	303	

出身地	岐阜県内	226	74.6%
	東海地区	4	1.3%
	その他(海外含む)	72	23.8%
下宿状況	自宅生	198	65.3%
	下宿生	105	34.7%

東海地区：愛知県・三重県・静岡県



# CLUB & CIRCLE

## ゴルフ部

### 全国大学対抗 男子4位

ゴルフ部は、第60回全国大学対抗戦、第46回全国大学女子対抗戦(6月／北海道・苫小牧ゴルフリゾート72 エミナゴルフクラブ)に出場しました。男子は初日、優勝した日本大と並んでトップタイでしたが、2日目に伸ばし切れず、惜しくも表彰台を逃して4位、女子は8位でした。

個人では、中日クラウンズゴルフトーナメントに長谷川貴優選手(スポーツ④／各務原高校出身)が出場し、アマチュア選手で唯一決勝ラウンドに進出した(ローアマ獲得)。また、本学卒業生3名も出場し、服部雅也選手(2022年度スポーツ健康科学部卒業)が初参戦で

6位タイの好成績を収めました。また、日本アマチュア選手権競技本戦の出場をかけた予選で、笠原瑛選手(スポーツ④／広島・瀬戸内高校出身)が1位タイで通過し、出場権を獲得しました。そのほか、9月に鹿児島県で開催された「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会特別国民体育大会」には6名が岐阜や愛知などの代表として出場しました。



全国大学対抗戦、全国大学女子対抗戦に出場したゴルフ部メンバー＝北海道、苫小牧ゴルフリゾート72 エミナゴルフクラブ

**【団体出場選手】** (かっこ内の丸数字はスポーツ健康科学部の学年、出身高校、※は国体代表選手)

- [男子]長谷川貴優(④／各務原※)笠原瑛(④／広島・瀬戸内※)清水大翔(③／新潟・開志国際※) 河邊匠(③／瀬戸内)永田丞(②／美濃加茂※)新井龍紀(①／愛知・中部大第一※)  
[女子]伊佐治瑚乃(④／愛知啓成※)酒井杏奈(③／美濃加茂)由元結菜(③／広島・広陵) 池戸梨緒(②／岐阜聖徳学園)栗原幸(②／瀬戸内)酒井夏鈴(①／岐阜聖徳学園)

### 荒川怜郁選手近況

#### フジサンケイレディス 2位タイ

今シーズンはプロとして活動している荒川怜郁選手(スポーツ④／沖縄・コザ高校出身)。4月に静岡県川奈ホテルゴルフコースで行われた「フジサンケイレディスクラシック」では、3アンダーで2位タイに入りました。その後、5月初めに左足親指を骨折して約2カ月治療に専念していま



荒川怜郁選手

した。現在は完治してツアーに参戦し、8月に行われた「CATLadies2023」では9位タイでした。9月2日現在、ポイントランキング80位(172,36ポイント)、賞金ランキングは65位(10,548,166円)です。

### 速報!

#### プロテストに現役2名が合格

プロテストでは、いずれもスポーツ健康科学部4年の笠原選手、長谷川選手が合格を果たしました。昨年の5名に続く快挙となりました。また、卒業生2名も合格しました。



長谷川貴優選手

笠原瑛選手

**【2023年度PGA資格認定プロテスト最終成績】**  
(上位50位タイまでが合格)

- 水田竜昇(2021年スポーツ健康科学部卒業)12位タイ、笠原瑛24位タイ、峠丈翔(2018年度経営学部卒業)29位タイ、長谷川貴優46位タイ

## バスケットボール部 [女子]皇后杯出場まであと一歩

第61回東海学生バスケットボール大会が4月から5月にかけて、トーナメント方式で争われ、女子はベスト4まであと一歩でした。女子は3回戦から登場。初戦は愛知東邦大を91-56で下しました。準々決勝は、準優勝した名古屋学院大に56-92で敗れましたが、2年連続でベスト8に名乗りを上げました。リバウンド王には後藤友花選手(スポーツ④)／熊本国府高校出身)が選ばれました。男子は1回戦、2回戦を勝ち進み、3回戦では静岡産業大学と対戦し、78-93で敗れ、8強まであと一歩でした。

また、皇后杯全日本選手権代表決定戦を兼ねた県総合選手権では、大学1位の女子は決勝まで勝ち進み、岐阜女子高校(高校1位)に74-85で惜敗しました。なお、東海総合チャンピオンシップ(11月・OKBぎふ清流アリーナ)に出場します。



リバウンド王に輝いた後藤友花選手

## 空手道部 全4部門に11名が全日本学生に出場

空手道の全日本学生選手権大会が7月、兵庫県姫路市の中央体育館で開かれ、本学からは男女の形と組手の各部門に計11名(重複選手あり)が出場しました。女子形では、中路陽沙未選手(スポーツ②)／岐阜・済美高校出身)がラウンド2まで勝ち上がり、11位でした。全日本強化選手で女子組手に登場した寺澤紗良選手(同)は惜しくも初戦で敗退しました。

**【出場選手】** (かっこ内の丸数字はスポーツ健康科学部の学年、出身高校)

- [女子形]中路陽沙未(②／岐阜・済美)齊田乃愛(①／京都・華頂女子)  
[男子形]杉山優希(③／東海大学付属静岡翔洋)永澤仁(③／岩手・大船渡) 野村飛翔(①／山口・高水)平田海翔(①／愛媛・松山中央)  
[女子組手]生魚瑠那(④／埼玉・花咲徳栄)寺澤紗良(②／済美)齊田乃愛  
[男子組手]平田羅生(教育①／済美)

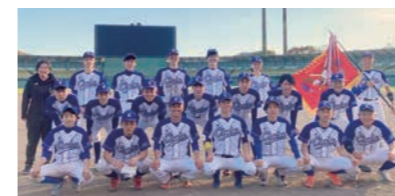


全日本学生選手権大会に出場を決めた空手道部

## 軟式野球部

全日本学生選抜に2年連続出場

岐阜県の春季リーグ戦で優勝した軟式野球部は、「第46回全日本学生選抜大会」に2年連続で出場しました。初戦の2回戦は中央大学(東京都)と対戦しましたが、3-5で惜敗しました。



2年連続で全日本学生選抜大会に出場した軟式野球部

## 陸上競技部

全日本競歩輪島大会に2選手が出場

全日本競歩輪島大会が4月、石川県の道の駅輪島ふらっと訪夢前を往復するコースで行われ、女子10km競歩に、則武桃佳選手(スポーツ④)／愛知・至学館高校出身)と近藤かえ選手(人間福祉①)／岐阜・済美高校出身)が出場しました。近藤選手は15位、則武選手は棄権でした。



則武桃佳選手



近藤かえ選手

## 吹奏楽部

東海学生コンクール出場逃す

岐阜県吹奏楽コンクール岐阜県大会が8月、羽島市の不二羽島文化センターで行われ、大学の部に出場した吹奏楽部=写真=は、金賞を受賞しましたが、東海大会への出場にはあと一歩及びませんでした。課題曲は『ポロネーズとアリア〜吹奏楽のために〜』、自由曲は『巨人の肩に乗って』。



## バレーボール部

男子は1部から降格 女子は2部残留

東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会で、1部の男子バレーボール部は8チーム中7位(1勝6敗)となり、2部との入れ替え戦に進みましたが、静岡産業大藤枝(2部2位)にセットカウント2-3で敗れ、2部降格となりました。2部の女子バレーボール部は1位(9勝1敗)となり、1部との入れ替え戦に臨みましたが、愛知教育大(1部8位)に3-0で敗れ、2部残留となりました。



全日本学生選手権に出場した(写真左から)森彩葉選手と藤田仁平選手

## 剣道部

全日本学生選手権に男女各1名が出場

剣道の全日本学生選手権が7月、東京の日本武道館で開かれ、本学からは、男子は藤田仁平選手(スポーツ②)／高山西高校出身)、女子は森彩葉選手(人間福祉④)／美濃加茂高校出身)が出場しました。結果は共に初戦敗退でしたが、これからの活躍に期待が高まります。藤田選手は全日本学生剣道東西対抗試合にも出場しました。



# TOPICS

## 国際交流

### インドネシアの伝統楽器と舞踊を鑑賞「アングルン」を奏でて交流を深める

インドネシアの伝統楽器「アングルン」や伝統舞踊「ジャイポンダンス」を体験する文化交流会を6月、関キャンパスで開催し、異文化への理解を深めました。

アングルンは竹筒と、それをつなぐ竹枠でできた打楽器。伝統の楽器と舞踊を披露したのは、インドネシア教育大学の学生8名。昨年8月、本学との間で学術交流協定を締結し、交流会が実現しました。

ワークショップでは、参加した約200名の学生1人につき1つずつアングルンを手に取り、「ドレミの歌」などを演奏しました。参加した学生からは「日本の伝統舞踊とは異なる点がたくさんあり、世界の文化への理解を深めることができた」「演奏と伝統舞踊の鑑賞は、異国への関心をもつきっかけになった」「アングルンの演奏は初めてで楽しかった。また参加したい」という声が聞かれました。



## 地域連携

### 津保川で「鮎の友釣り」に挑戦 川に興味を持つきっかけに――

本学の学生18名が5月、関市上之保の津保川で鮎の友釣りを体験しました。

若者に川に興味を持ってもらおうと、津保川漁業協同組合が企画。鮎の友釣り愛好者でつくる「ぎふ友釣り連盟」や同漁協上之保支部のメンバーが講師を務めました。

学生は、鮎の習性や友釣りの仕組みについて学んだ後、川へ移動。おとり鮎の付け方などを教わりながら、友釣りに初めて挑みました。参加した学生はさおから「ぐぐっ」と伝わる感触を確かめながら、鮎を釣り上げていました。「鮎は本当にキュウリの香りがした」「優しく教えてもらい、鮎を釣ることもできて楽しかった」「川に入るのは10年ぶりでの良い体験ができた」などの声が聞かれ、満喫していました。



## 今後の予定

大学祭・第21回たのしみ祭・ホームカミングデー  
10月21日(土)関キャンパス  
第18回学びの森フェスティバル  
11月3日(金・祝)各務原キャンパス、学びの森  
中部学院 全国手話スピーチコンテスト  
11月18日(土)各務原キャンパス  
クリスマスツリー点灯式  
11月27日(月)関キャンパス

クリスマス礼拝・祝会 ※  
12月18日(月)関キャンパス  
年内授業終了日  
12月25日(月)  
年始通常授業開始日  
2024年1月5日(金)  
後期定期試験日  
2024年1月22日(月)～26日(金)

各種表彰式・卒業礼拝  
2024年3月19日(火)関キャンパス  
卒業式  
2024年3月20日(水・祝)長良川国際会議場

(※ 開催方法等検討中)

## 産学連携 JAめぐみの

### 野菜などの魅力を伝える動画を制作

めぐみの農業協同組合(JAめぐみの)との連携協定に基づき、短期大学部社会福祉学科美・デザインと医療事務の2コースの学生21名が、同JAの直売店「とれたっひろば関店」の魅力を広くPRする動画制作に取り組みました。テーマは、夏秋トマトや明方ハムなど10項目。動画は同店や本学公式YouTubeで流れる予定。



## SDGs

### 保育園の建築廃材からおもちゃを制作

短期大学部幼児教育学科の杉山裕子ゼミでは、「美濃加茂市木育で世代をつなぐSDGsプロジェクト2023」として、「廃材(木片)による子どもたちが喜ぶおもちゃの創作」を進めています。おもちゃドクターと共に、美濃加茂市内の保育園から出た建築廃材をおもちゃに生まれ変わらせようとアイデアを出し合っています。



## 留学生

### 学生同士で交流、日本の伝統文化に触れる

本学には、ミャンマーや中国などから200名弱の留学生が入学し、勉学に励んでいます。大学、短期大学部、留学生別科に在籍する留学生同士での交流をはじめ、日本人学生との交流、日本の伝統文化に触れるなど、さまざまな企画を展開しています。5月には遠足で高山市を訪れ、陣屋や古い町並みなどを見学しました。



## 公開講座「現代マネジメント研究」 第一線で活躍の8名が登場

各界の第一線で活躍している方々が講演する「現代マネジメント研究」。今年も8名の方々がご登壇し、学生や市民にメッセージを伝えました。講師は次の皆さん。▶カレーハウスCoco壱番屋創業者 本学客員教授 宗次徳二氏 ▶みんなの森ぎふメディアコスモス総合プロデューサー 吉成信夫氏 ▶岐阜市長 柴橋正直氏 ▶ヴァイオリニスト・音楽療法士・中部学院大学卒業生 濱島秀行氏=写真=▶十八楼取締役・長良川温泉女将协会会长 伊藤知子氏 ▶中日新聞岐阜支社長 有賀信彦氏 ▶日本舞踊家・岐阜市芸術文化協会会長 藤間金扇氏 ▶岐阜県議会議員 本学空手道部監督 若井あつこ氏 (各講師の講演内容はホームページにて)



## 高大連携

### 岐阜城北高校で「スポーツビジネス」

高校生にスポーツを探究していく機会にしておくと、スポーツ健康科学部では出張授業を展開しています。岐阜市の岐阜城北高校では、3年生の選択授業「スポーツビジネス」の1コマが行われ、同学科の柿島新太郎講師が担当しました。「スポーツビジネスは何を売っているか」と投げかけ、深掘りしました。



## 地域貢献

### マラソン「救護ボランティア」として参加

看護学科2年生52名は、4月に岐阜市で行われた『高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン』に救護ボランティアとして参加しました。1年生から救命処置の研修を受けたり、説明会に参加してボランティアの役割を再認識したり、事前準備を積んできました。当日はランナーの体調を確認しながら沿道で声援を送りました。



## 大学附属図書館

### 「ビブリオバトル」「選書ツアー」を開催

おすすめしたい本を紹介して1番の本を決める「ビブリオバトル」を4月、関キャンパスで行いました。チャンプ本には、短期大学部幼児教育学科1年の大澤愛来さんが紹介した『キミが、たいせつ。』(ナカムラミツル著)が選ばれ、岐阜新聞「私の宝本」(6月4日)に掲載されました。また、図書館に所蔵してほしい本を学生が選ぶ「選書ツアー」を8月、岐阜市の丸善岐阜店で行い、約250冊の本が新たに加わりました。



## 告知

これまで30年間続けてきた「中部手話スピーチコンテスト」が、今年度から「中部学院 全国手話スピーチコンテスト」に生まれ変わり、11月18日に各務原キャンパスで行われます。コンテストは、「手話スピーチ」「手話パフォーマンス」の2部門があります。また、ろう児対象の国語専門学習塾を運営している早瀬憲太郎さんが講演します。そのほか、ミニ手話講座や、2025年に東京で開催される予定の「デフリンピック競技大会」のPRなども行われます。観覧希望の場合は、右記のQRコードからお申し込みください(観覧無料、お申し込み、10月31日締切、希望者多数の場合は先着順)。



早瀬憲太郎さん

お申し込み







中部学院大学  
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211  
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加翔田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] 人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)通信教育部  
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)  
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/スポーツマネジメント領域/障がい者スポーツ領域/保健体育科教育領域)

[短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)

社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース)